


平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	医療保険制度企画調査費			担当部局庁	保険局		作成責任者			
事業開始年度	昭和42年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課		渡辺由美子			
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を図るために、期間業務職員の雇用を行い、保険局全体の業務を円滑に推進する。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	保険局全体の業務を円滑に推進するために行う期間業務職員の雇用。									
実施方法	直接実施									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求				
	予算 の状 況	当初予算	62	62	63	62				
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
	計	62	62	63	62	0				
	執行額	59	62	60						
執行率 (%)	95%	100%	95%							
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標			単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	-	-	-	成果実績	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	目標値	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	達成度	%	-	-	-	-	-
定量的な成果目 標の設定が困難な 場合	定量的な目標 が設定できない理 由及び定量的な成 果目標	定量的な目標が設定できない理由			定量的な成果目標と25~27年度の達成状況・実績					
	事業の妥当性を 検証するための代 替的な達成目標及 び実績	代替目標	代替指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度
単位当たり コスト	算出根拠				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	期間業務職員の一人当たり経費を算出 (期間業務職員の賃金等総額/雇用する期間業務職員 数)			単位当たり コスト	千円	3,476	3,647	3,771	3,655	
				計算式	/	59,085/17	62,000/17	60,338/16	62,136/17	
平成28・29年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	庁費	62								
	計	62	0							

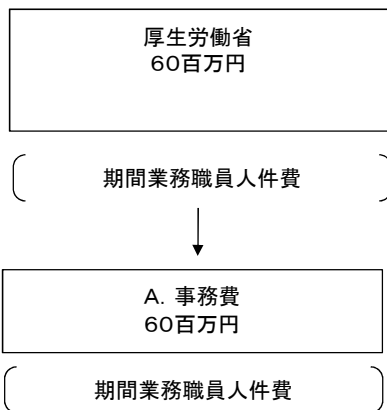
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標9 全国民に必要な医療を保障できる安定的・効率的な医療保険制度を構築すること								
	施策	施策目標 I -9-1 適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること								
	政策評価	測定の指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
			実績値	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	期間業務職員の雇用(国の事業を遂行するために必要な業務の補助として職員の労働力のカバー)にかかる費用を支出する。業務を円滑に推進するために期間業務職員の雇用を行うことを目的とする。									
	改革項目	分野:	-	-						
	アクション・プログラム	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
目標値			-	-	-	-	-	-		
達成度			%	-	-	-	-	-		
アクション・プログラム	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
		成果実績	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-		
		達成度	%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-										

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を図るために必要なものであり、国民や社会のニーズは極めて高いものであることから国費を投入しなければ事業の目的が達成できない。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国の事業を遂行するために必要な業務補助者の雇用であるため、国が直接実施するもの
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を図るために必要なものであり、優先度は高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	省内統一基準に則っている
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	期間業務職員の給与として真に必要なものである。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	局内の業務量を鑑み、見込み通り採用することで、円滑な業務運営が図れている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	国の事業を遂行するために必要な業務補助者として、不足する労働力をカバーしている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見込み通りの採用を行っている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名

点検・改善結果	点検結果	平成27年度においても、職員の業務量を考慮し、見込み通り適切に採用できている。				
	改善の方向性	今後も局内全体の業務量を考慮しながら、必要な採用数を精査していきたい。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	260	平成23年度	231	平成24年度	197	
平成25年度	230	平成26年度	242	平成27年度	252	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

